



心臓財団 季報

No.195

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

MAY 10, 2009

平成21年度 日本心臓財団事業計画

～第55回評議員会・第116回理事会にて決定～

3月9日、東京の学士会館にて第55回評議員会・第116回理事会が開催され、平成21年度事業計画、収支予算について審議し、評議員会において承認され、理事会において可決しました。事業概要は以下のとおりです。

I. 研究助成事業

A. 個別研究助成

1. 第35回日本心臓財団研究奨励の実施
2. 第7回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)の実施
3. 第7回日本心臓財団・アステラス・ファイザー動脈硬化 Update研究助成の実施
4. 第5回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成の実施
5. 第35回日本心臓財団佐藤賞の贈呈
6. 第34回日本心臓財団草野賞の贈呈
7. 第24回日本心臓財団予防賞の贈呈
8. 第5回日本心臓財団小林太刀夫賞の贈呈
9. 第14回日本心電学会学術奨励賞の後援

- 3. 心室細動に関する研究
- 4. 突然死に関する観察研究
- 5. 心房細動に関する研究
- 6. 慢性心不全に関する研究
- 7. 急性心不全に関する研究
- 8. 糖尿病と心血管病に関する研究
- 9. 血栓症・塞栓症に関する研究
- 10. 心臓外科治療に関する研究 など

B. 多施設共同研究助成

1. 虚血性心疾患に関する研究
2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究

C. 留学・研修助成

- 1. 第23回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成の実施
- 2. 東京海上日動火災保険(株)による海外研究者研修助成の実施
- 3. 第3回日本心臓財団Cardiac Rhythm Management 短期海外研修助成の実施
- 4. 第5回日本心臓財団・日本心電学会海外留学助成の実施

II. 会議・研究会助成事業

1. 第31回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招待講演)への助成
2. 第22回日本循環器病予防セミナーの開催
● その他、理事会で承認された循環器関連学会

III. 広報啓発事業

1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連広報活動
2. 日本循環器学会との協力事業
 - 1) 病院掲示用壁新聞ハートニュースの発行
 - 2) 市民公開講座の開催
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「健康ハートの日」活動
 - 1) 8月10日キャンペーン(東京、豊橋)
 - 2) 広報活動:ポスターの製作配布等
5. 世界心臓連合(World Heart Federation)加盟団体としての諸活動
 - 1) 世界心臓連合(WHF)加盟分担金の納入
 - 2) 9月27日、世界ハートの日事業(一宮、名古屋、枚方)
6. 禁煙推進活動
 - 1) たばこと健康問題NGO協議会による世界禁煙デー記念シンポジウムの開催
 - 2) 禁煙推進ネットワークを中心に活動
7. AED普及活動
8. 生活習慣病改善プログラムの普及・研究活動
9. 日本心臓財団メディアワークショップの開催
10. 予防活動団体への協力
11. 日本心臓ペースメーカー友の会事業への協力
12. 日本川崎病研究センター事業への協力
13. トーアエイヨー(株)によるラジオNIKKEI「心臓財団虚血性心疾患セミナー」
14. 月刊誌「心臓」の発行
15. 機関紙「季報」の発行

第5回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成対象者決定

当財団では、ノバルティスファーマ株式会社の協力を得て、循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される40歳以下の少壮研究者育成のために、第5回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成を実施いたしました。

本研究助成に48題の応募があり、選考委員10名による書類審査が行われ、3月20日に開催された選考委員会において下記の10名が選考されました。助成金額はそれぞれ100万円です。

選考委員(五十音順・敬称略)

委員長	永井 良三	東京大学大学院医学系研究科循環器内科教授
委員	伊藤 宏	秋田大学医学部循環器内科学教授
	北風 政史	国立循環器病センター心臓血管内科部門部長
	倉林 正彦	群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学教授
	小室 一成	千葉大学大学院医学研究院循環病態医学教授
	斎藤 能彦	奈良県立医科大学第一内科学教授
	砂川 賢二	九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授
	筒井 裕之	北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授
	室原 豊明	名古屋大学大学院医学系研究科器官制御内科学教授
	森下 竜一	大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

助成対象者

(五十音順・敬称略)

番号	氏名	所属	研究課題
1	伊藤 綾香 (29歳)	東京医科歯科大学難治疾患研究所 分子代謝医学 特任助教	肥満・動脈硬化におけるMKP-1の病態生理的意義と創薬ターゲットとしての可能性
2	岩本 紀之 (38歳)	名古屋市立大学医学研究科 生物化学 研究員	動脈硬化予防のためのHDL上昇技術開発と機能未知ABC蛋白による動脈硬化形成メカニズムの解析
3	金田 るり (36歳)	慶應義塾大学医学部 再生医学 助教	ヒストン修飾酵素阻害薬による心不全の新規治療法の開発
4	笹野 哲郎 (39歳)	東京医科歯科大学難治疾患研究所 生体情報薬理学 特任助教	ATPのオートクライン/パラクライン作用による心房線維化誘導機序の検討
5	佐藤 公雄 (37歳)	東北大学大学院医学系研究科 循環器病態学 助教	原発性肺高血圧における低酸素誘導蛋白サイクロフィリンAの発現制御とその役割の解明
6	菅村 公一 (34歳)	熊本大学大学院医学薬学研究部 循環器病態学 助教	内因性カンナビノイドシステム制御による動脈硬化症治療の検討
7	瀬口 理 (36歳)	大阪大学大学院医学系研究科 分子心血管医学 リサーチレジデント	不全心筋における心臓型ミオシン軽鎖キナーゼの発現制御とその役割
8	彦惣 俊吾 (37歳)	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 助教	細胞内分解機構の心不全発症における役割の検討と治療への応用
9	牧山 武 (36歳)	京都大学医学部附属病院 探索医療センター探索医療臨床部 産学官連携助教	心臓Naチャンネル病の病態解明 —心房細動モデルマウスの構築とチャンネル制御蛋白の探索—
10	松浦 勝久 (34歳)	東京女子医科大学医学部 循環器内科学 助教	心筋前駆細胞シート移植を用いた心筋再生治療におけるVCAM-1/ VLA-4シグナルの重要性



第34回 日本心臓財団 佐藤賞 望月 直樹 部長が受賞

第73回 日本循環器学会総会・学術集会にて

日本心臓財団佐藤賞は、当財団の故佐藤喜一郎初代会長を記念して設けられたもので、近年循環器領域で顕著な業績をあげ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される50歳未満の研究者1名に贈られるものです。日本循環器学会会長を委員長とする選考委員会において選考され、今回は国立循環器病センター研究所循環器形態部の望月直樹部長に決定しました。第73回日本循環器学会総会・学術集会(会長:堀 正二 大阪府立成人病センター総長)会期中の3月21日に大阪国際会議場にて授与式が行われ、当財団の杉本恒明副会長より賞牌ならびに100万円が贈呈されました。研究課題は、「循環器疾患病態理解のための分子イメージングによる血管内皮・心筋細胞の情報伝達解明」で、同学術集会において受賞記念講演が行われました。



第33回 日本心臓財団 草野賞 吉村 壮平 氏が受賞

第34回 日本脳卒中学会総会にて

日本心臓財団草野賞は、当財団の故草野義一初代理事長を記念して設けられたもので、この1年間に脳血管障害に関する学術雑誌に掲載された40歳未満の研究者の論文に対し贈られるものです。今回は九州大学医学部病態機能内科学(第二内科)の吉村壮平氏に決定しました。第34回日本脳卒中学会総会(会長:小林祥泰島根大学医学部附属病院院長)会期中の3月20日に島根県民会館にて授与式が行われ、小林会長より賞牌ならびに50万円が贈呈されました。受賞論文は、「脳梗塞急性期におけるたこつぼ心筋症の発症」でした。



第24回 日本心臓財団 予防賞 今井 潤 教授が受賞

第45回 日循協総会にて

日本心臓財団予防賞は、地域社会に密着し、循環器疾患予防に永年貢献もしくは学術研究開発に功績のあった団体あるいは研究者を対象に贈られるものです。今回は東北大学大学院薬学・医学系研究科臨床薬学分野の今井潤教授が選ばれました。受賞研究は、「家庭血圧・自由行動下血圧に基づく循環器病の予防戦略一大迫研究一」です。来る6月5日、第45回日本循環器管理研究協議会(日循協)総会において授与式が行われ、賞牌ならびに50万円が贈られます。

第5回 日本心臓財団 小林太刀夫賞 北海道北見市端野支部ならびに 北海道有珠郡壮瞥町保健係グループが受賞

第45回 日循協総会にて

当財団では日本循環器管理研究協議会の協力を得て、同協議会初代理事長の名を冠した日本心臓財団小林太刀夫賞を授与しています。これは地域と密着して、循環器病を中心とした生活習慣病予防のために長年貢献し、生活習慣等の改善により疾病管理に実効を挙げた活動、あるいは予防のための創意工夫により将来において疾病管理の実行が期待できる活動を展開中の保健師、看護師、栄養士の個人または団体に贈られるものです。その第5回には、端野・壮瞥町地域(北海道)において、札幌医科大学第2内科と共同で30年以上もの長い間、循環器住民健診を行い、地域住民の健康管理に効果を上げていることにより、両地域の保健師グループが選ばれました。第24回日本心臓財団予防賞とともに、第45回日本循環器管理研究協議会(日循協)総会において授与され、賞牌ならびに50万円が贈られます。

平成21年度 日本心臓財団研究奨励募集

心臓血管病(心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等)の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対し行います。

1. 研究奨励金および応募資格

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる研究者。なお、下記のどちらか一つしか応募できません。また、過去に研究奨励金を受けた者は、同一の研究奨励に再度の応募はできません。

1) 第35回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。40歳未満の研究者(1969年4月1日以降に生まれた者)

2) 第7回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)

1件50万円を4件。30歳未満の将来性のある若手研究者(1979年4月1日以降に生まれた者)

2. 応募期間

平成21年6月1日～7月15日

海外からの研究者に対する助成

日本心臓財団では循環器疾患の研究分野においてASEAN諸国等の研究者の来日に対し、東京海上日動火災保険(株)による海外研究者研修助成を実施しています。

1) 第73回日本循環器学会総会・学術集会に参加発表

平成21年3月20日～22日 各10万円

シンガポール	James Yip Wei Luen 氏
スリランカ	Samarasinghe Duminda 氏
ネパール	Rajbhandari Rajib 氏
バングラデッシュ	Karmakar Pradip K 氏
マレーシア	Fong Alan YY 氏

2) 第7回国際留学生Young Investigator's Award

アジアから日本に留学している若手研究者を対象に、第73回日本循環器学会総会・学術集会で発表

最優秀賞 Bambang Widyanoro 氏 20万円
(神戸大学大学院循環器内科学:インドネシア)

優秀賞 其其格 珠蘭 氏 10万円
(東北大学大学院循環器内科:中国)
李 萍 氏 10万円
(名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科:中国)
徐曉娟 氏 10万円
(山口大学大学院医学系研究科器官病態内科:中国)

3) 第17回アジア太平洋心臓病学会に参加発表

平成21年5月20日～23日 各10万円

インドネシア	Karel Saragih 氏
	Ida Susilawati 氏
	Anwar Santoso 氏
シンガポール	Lei Ye 氏
	Liping Su 氏
フィリピン	Felibert Olila Dianco 氏
	Zanina Guevarra Lorenzo 氏
	Maria Cristina Tordecilla Atienza 氏

2009年世界禁煙デー 記念シンポジウムのご案内

テーマ「煙のない健康的な社会づくり」

本年度のWHOの標語

「警告! たばこの健康被害(Tobacco Health Warnings)」

日 時:平成21年5月31日(日) 開場12時30分

会 場:アキバホール(東京都千代田区神田連堀町3富士ソ
フト秋葉原ビル5F)

*申込み方法等は、当財団ホームページや厚生労働省「たばこと健康に関する情報ページ」をご参照ください。

ご支援ありがとうございます

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。

(2009年2月～4月)

匿名		100,000 円
山本 勝利 様	大阪府大阪市	1,000 円
溝口 直美 様	愛知県日進市	10,000 円
匿名		18,100 円
株式会社アクセル 様		2,000,000 円
竹下 彰 様		30,000 円
匿名	オーストラリア	15,470,000 円
匿名		10,000 円
匿名		16,000 円
三浦 香澄 様	茨城県水戸市	50,000 円
匿名		200,000 円
匿名		50,000 円
匿名		17,333 円

当財団をご支援下さる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(2009年2月～4月)

田上 慶子 様 小見山 延子 様

●心臓財団からのお願い●

～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられています。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいつでも受けさせていただきます。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられています。

賛助会は日本心臓財団の目的に賛同し、その働きを支援する方々、法人によって構成されています。賛助会費は、個人の場合、年額1万円、法人の場合は5万円で何口でも差し支えありません。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

郵便振替口座 00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団